

NPO・市民活動団体アンケート調査報告書

平成27年9月

青梅市

目次

1	調査の概要	1
2	団体の概要について	2
3	団体の活動について	3
4	情報の発信・収集について	5
5	行政との協働・連携について	6
6	青梅ボランティア・市民活動センターについて	8
7	活動上の課題と今後の方向性について	11

1. 調査の概要

1. 調査の目的

青梅市内で活動されている団体の活動状況を把握するとともに、今後の効果的な支援策と協働推進のための基礎資料として活用することを目的として実施した。

2. 調査時期

平成27年8月

3. 調査対象

青梅市内で活動されている各団体（青梅市内に主たる事務所があるNPO法人、青梅ボランティア・市民活動センターに登録している団体） 111団体

4. 調査方法

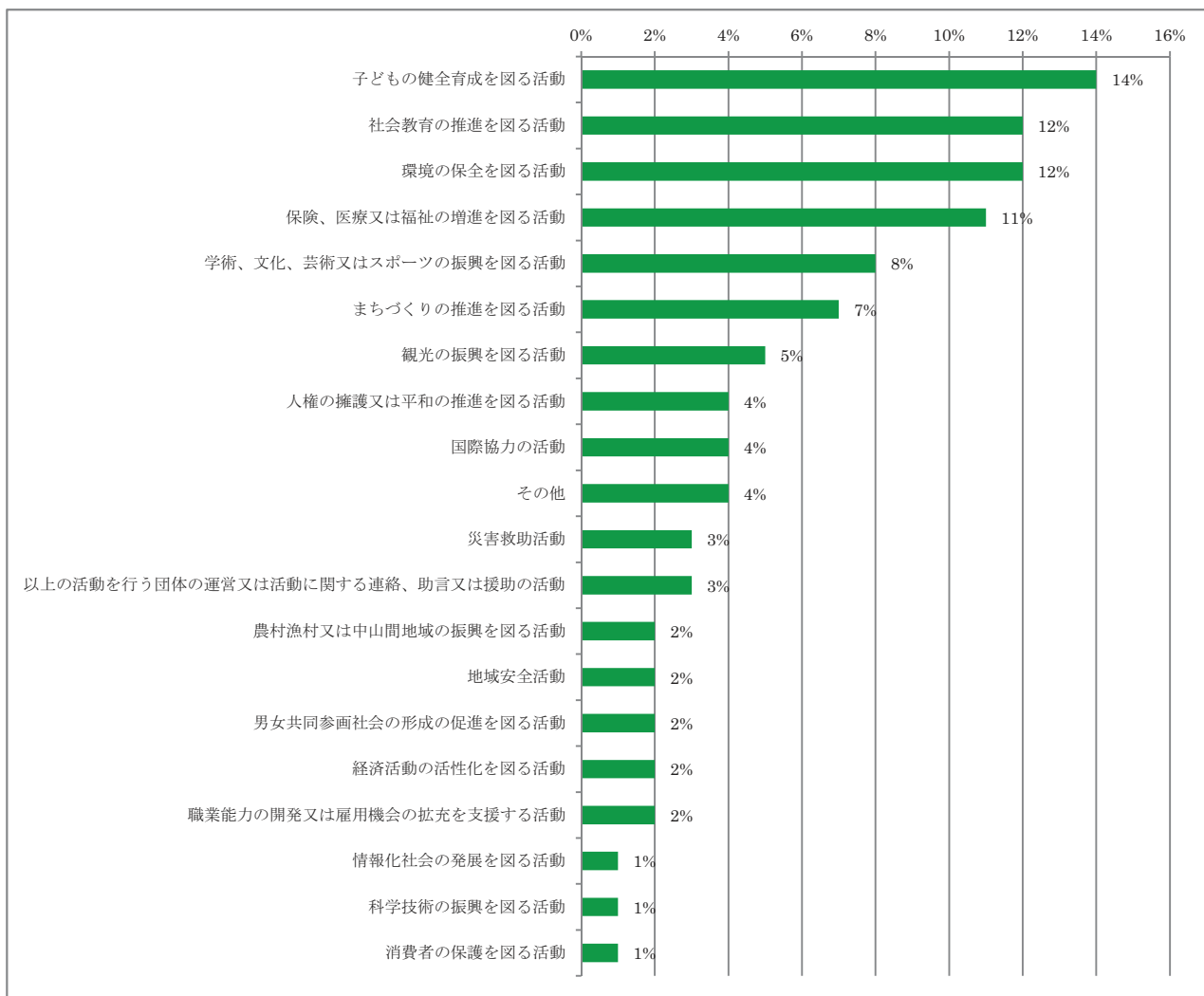
郵送による（配布・回収）アンケート調査

5. 回収状況

送付団体数	111
回答団体数	78
回収率	70%

2.団体の概要について

■取り組んでいる活動分野について（複数回答可）

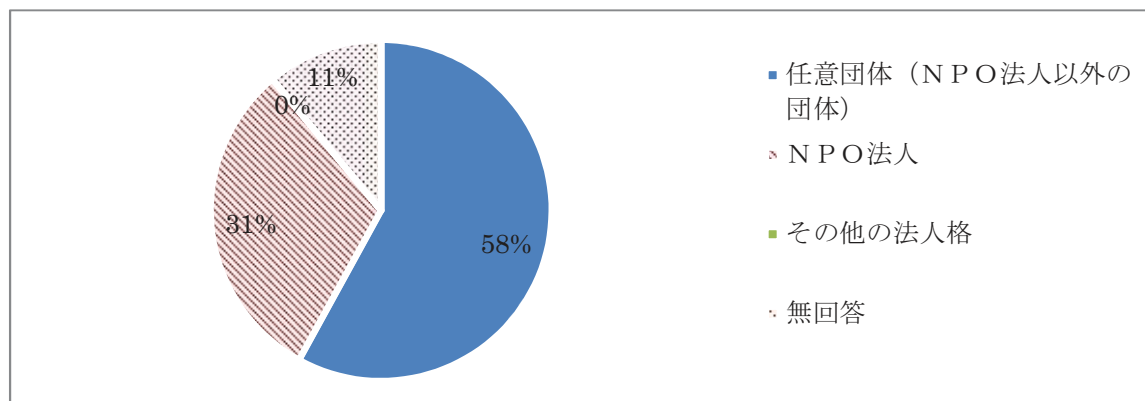


※選択肢となった活動分野は、特定非営利活動促進法別表に記載されている区分。（n=221）

「子どもの健全育成を図る活動」が14%で最も多く、次いで「社会教育の推進を図る活動」、「環境の保全を図る活動」を行っている団体が12%であった。

■法人格の取得状況について

任意団体（NPO法人以外の団体）	45団体
NPO法人の所管	24団体
その他の法人格	0団体
無回答	9団体

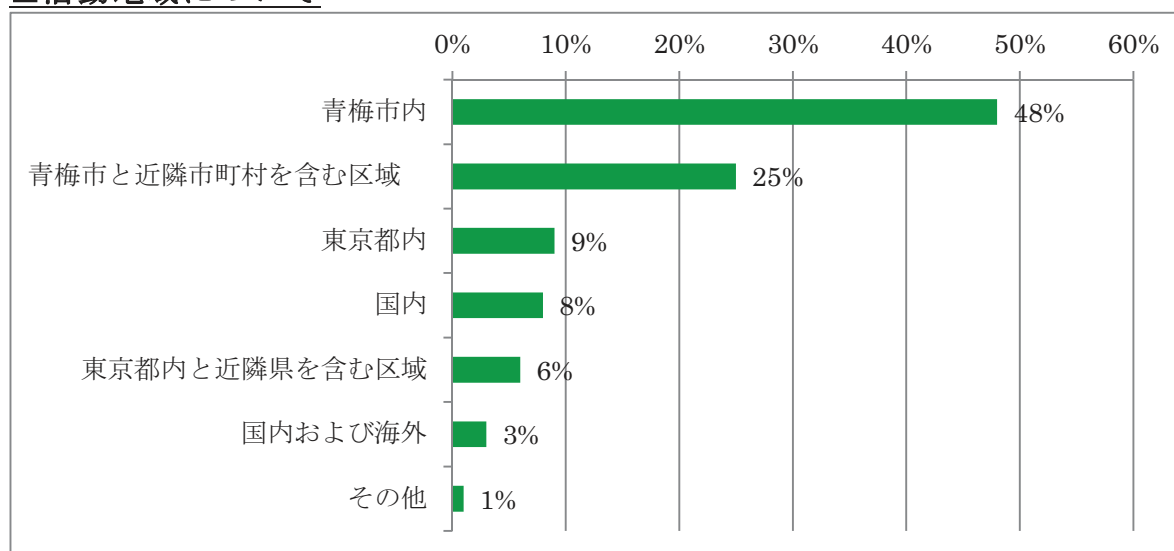


(n=78)

組織形態は、58%の団体が任意団体であった。

3. 団体の活動について

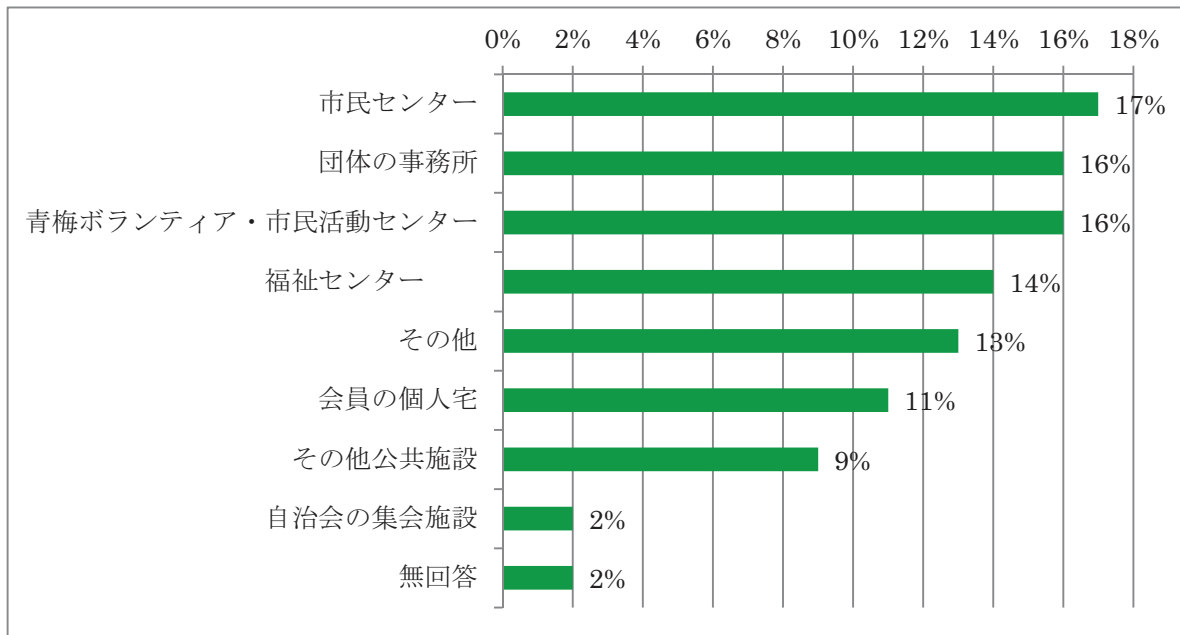
■活動地域について



(n=79)

「青梅市内」で活動している団体が全体の48%、続いて「青梅市と近隣市町村を含む区域」で活動している団体が25%となり、青梅市及び隣市町村で集中的に活動が行われている。

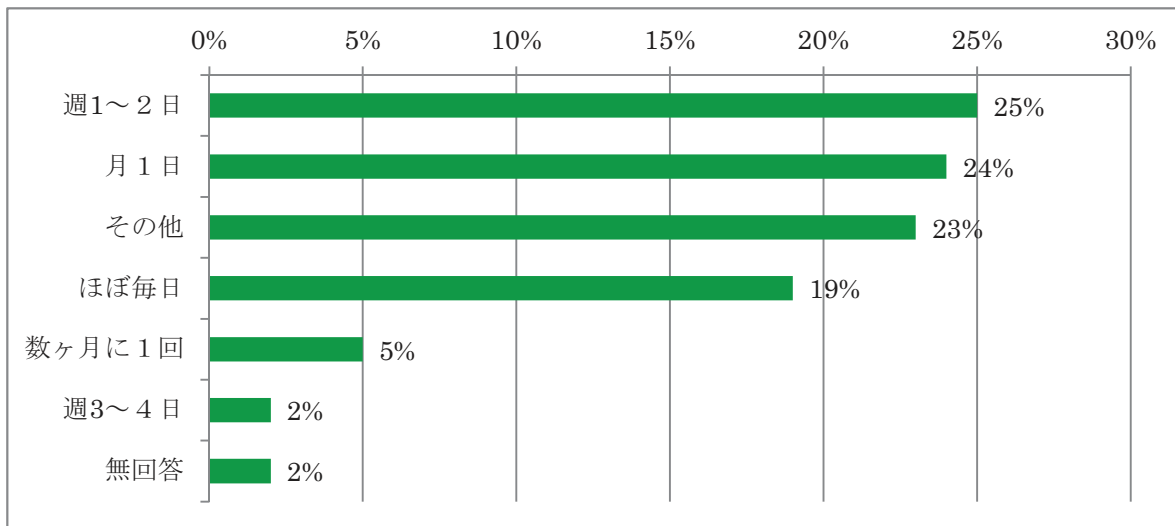
■最も使用している活動場所について



(n=78)

活動拠点は、「市民センター」が17%と最も多く、次いで「団体の事務所」、「青梅ボランティア・市民活動センター」となっている。

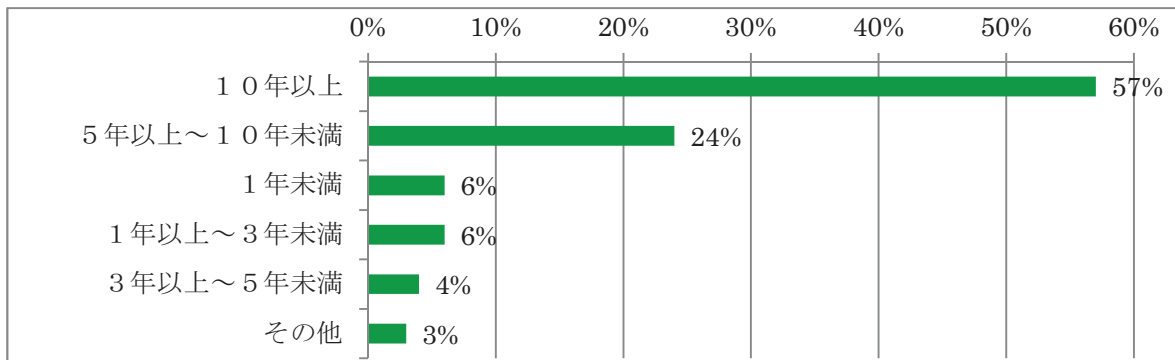
■活動の頻度について



(n=78)

活動頻度は、「週1~2日」が25%と最も多く、次いで「月1回」であるが、「ほぼ毎日」活動する団体も19%であった。

■活動年数について

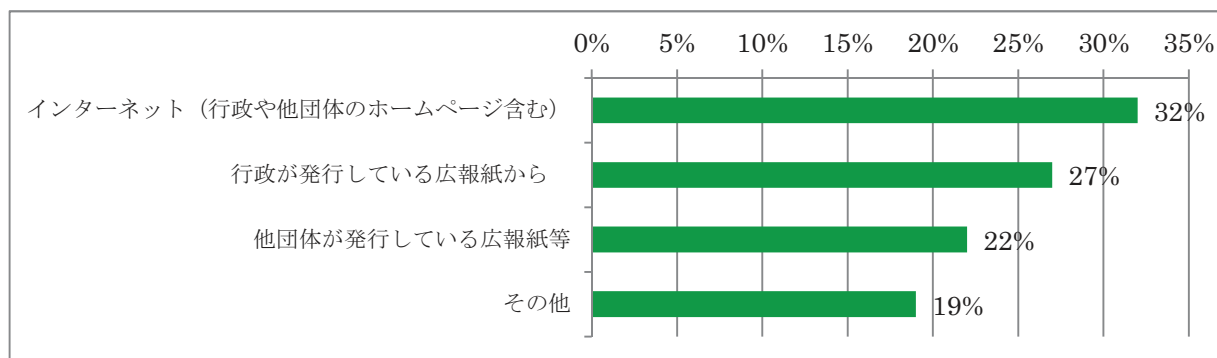


(n=78)

活動年数は、「10年以上」の団体が、57%で最も多い。

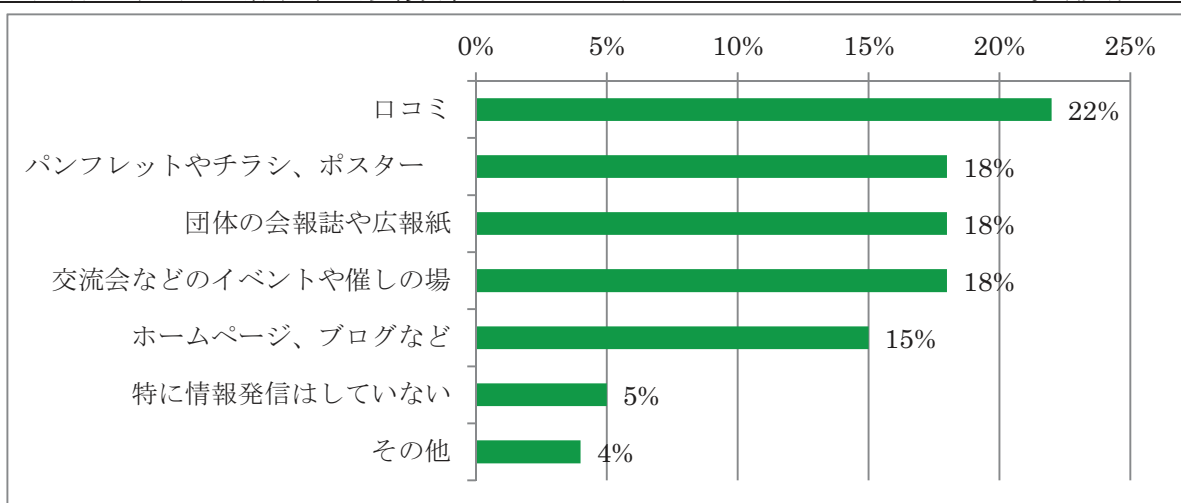
4. 情報の発信・収集について

■活動に必要な情報をどのような手段で集めているか。(複数回答可)



活動に必要な情報は、「インターネット」が32%と最も多く、次いで、「行政が発行している広報紙」、「他団体が発行している広報紙」となっている。

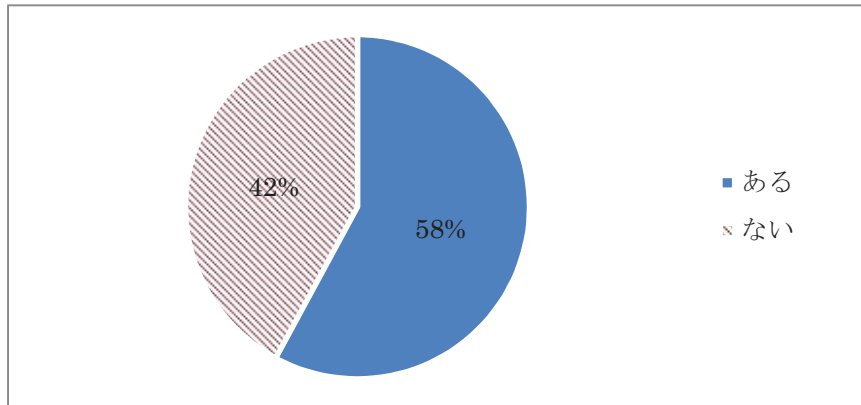
■団体に関する情報、会員募集をどのような手段で発信しているか。(複数回答可)



「口コミ」が22%と最も多く、次いで、「パンフレットやチラシポスター」、「団体の会報誌や広報紙」、「交流会などのイベントや催しの場」となっている。

5.行政との協働・連携について

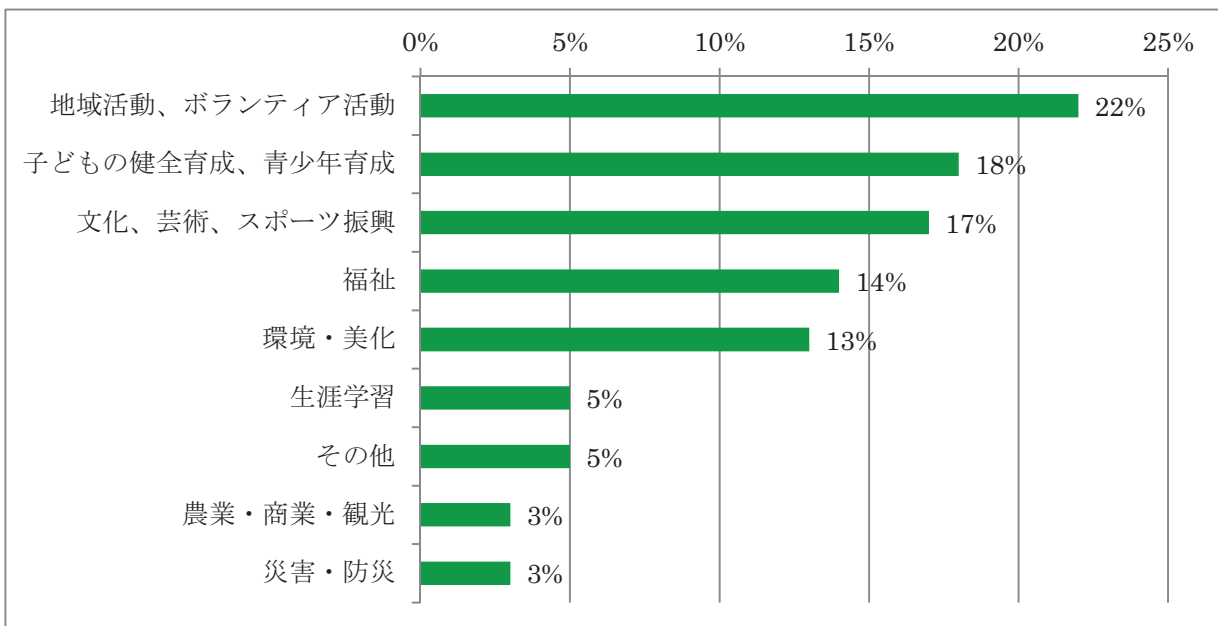
■ これまでに青梅市と協働で事業を実施したことはあるか。



(n=76)

青梅市と協働で事業を実施したことについては、「ある」が58%で、「ない」が42%を上回った。

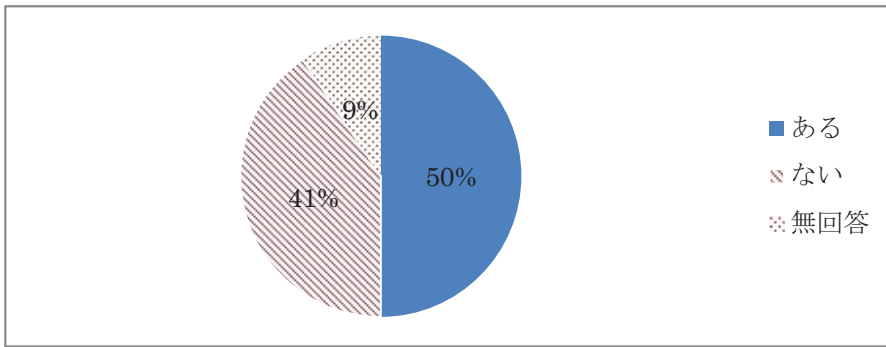
■ (これまで協働事業を行ったことがある団体に対し) これまでに実施した協働の分野について (複数回答可)



(n=101)

「地域活動、ボランティア活動」が22%で最も多く、次いで「子どもの健全育成、青少年育成」、「文化、芸術、スポーツ振興」の順であった。

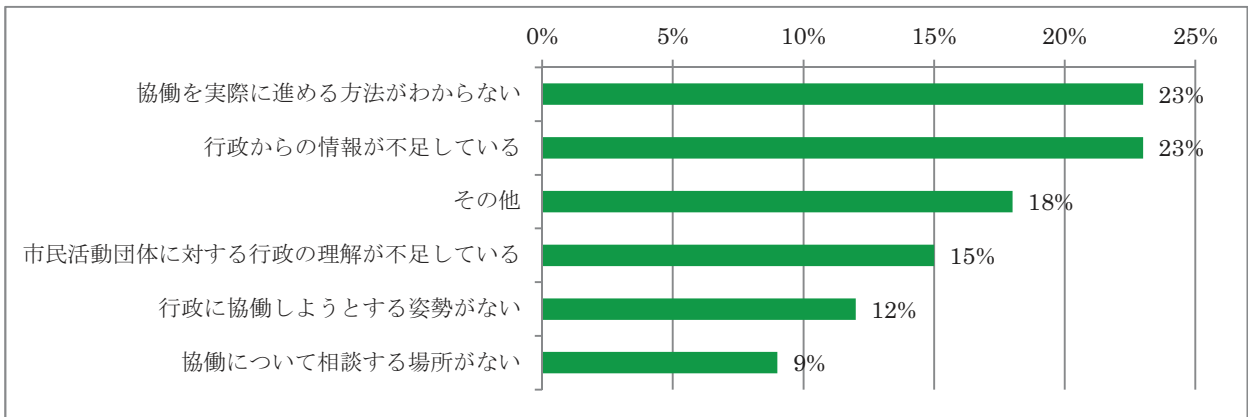
■ （これまで協働事業を行ったことがない団体に対し）今後、青梅市と協働をする希望の有無について



(n=32)

現在、協働事業を実施していない団体において、青梅市と協働をする希望は、「ある」が50%、「ない」が41%であった。

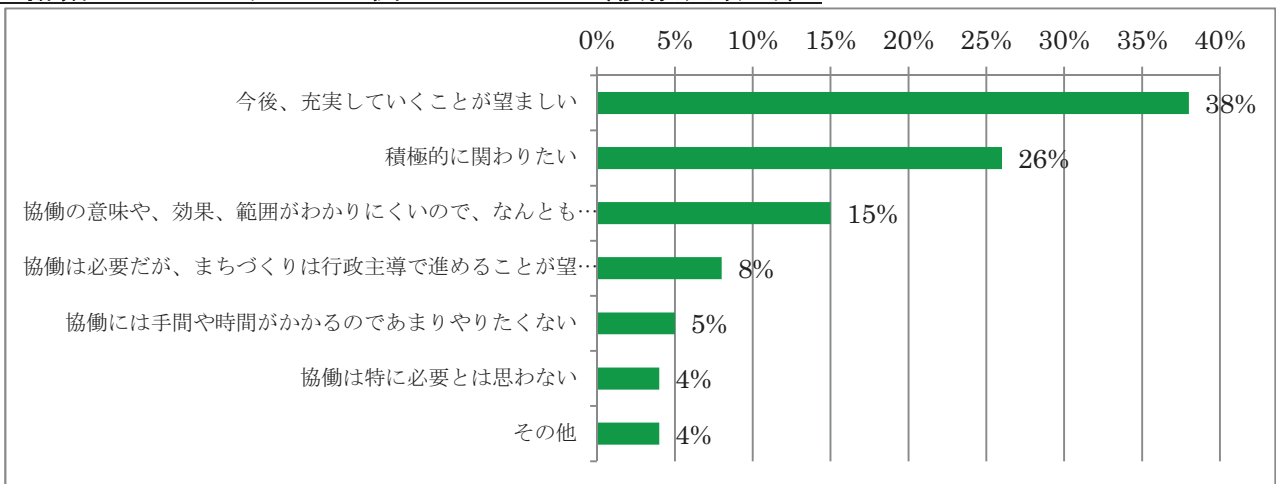
■ （今後、青梅市と協働を希望すると答えた団体に対し）青梅市と協働をするにあたり問題となっている原因について（複数回答可）



(n=34)

「協働を実際に進める方法がわからない」、「行政からの情報が不足している」が23%で最も多く、次いで「その他」、「市民活動団体に対する行政の理解が不足している」の順であった。

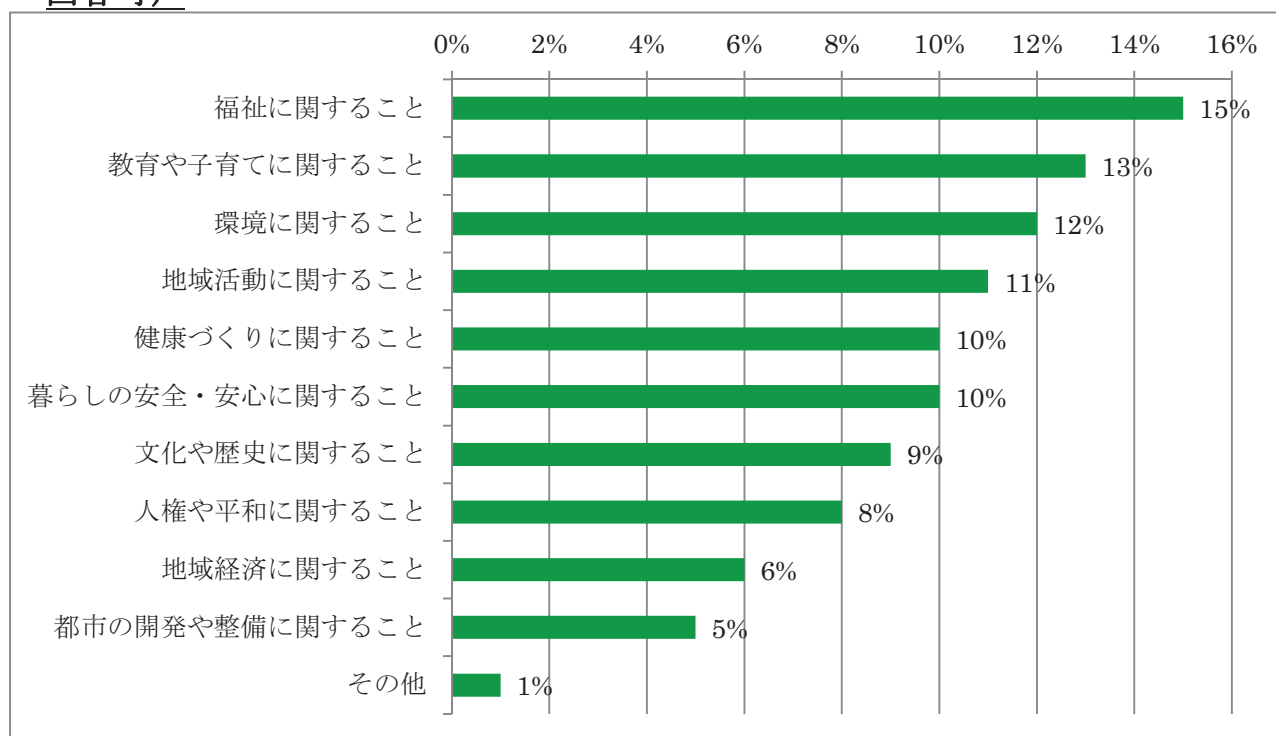
■ 協働のまちづくりへの関心について（複数回答可）



(n=104)

「今後、充実していくことが望ましい」が38%で最も多く、「積極的に関わりたい。」26%を合わせると、64%の団体が関心を示している。

■市民等と行政が協働で取り組むことが必要、あるいは有効な分野について（複数回答可）

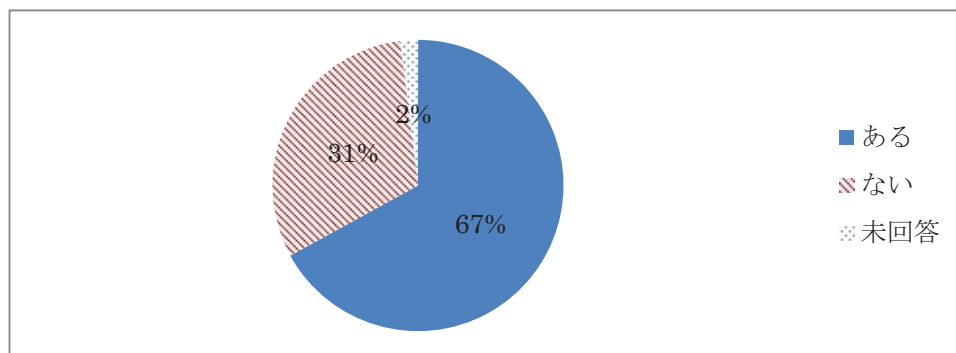


(n=333)

「福祉に関すること」が15%で最も多く、次いで「教育や子育てに関すること」、「環境に関すること」「地域活動に関すること」の順であった。

6. 青梅ボランティア・市民活動センターについて

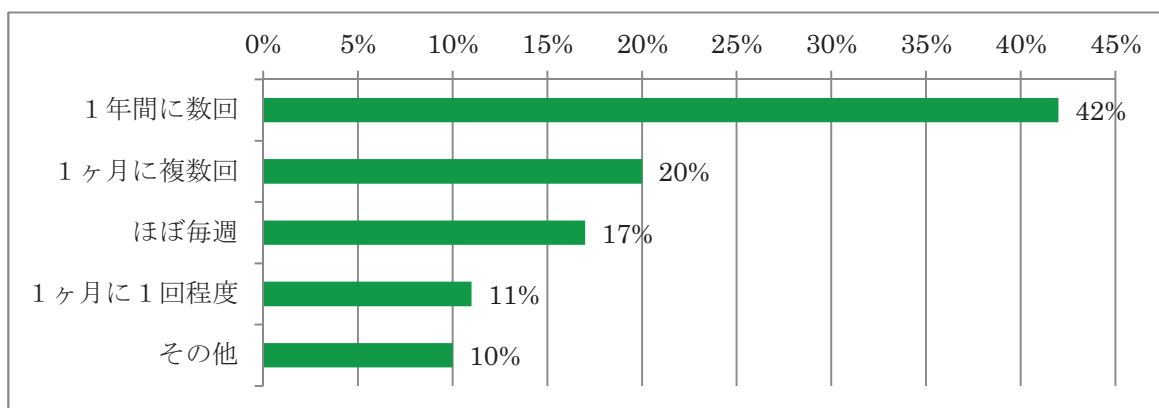
■青梅ボランティア・市民活動センターの利用の有無について



(n=78)

青梅ボランティア・市民活動センターの利用については、「ある」が67%、「ない」が31%であった。

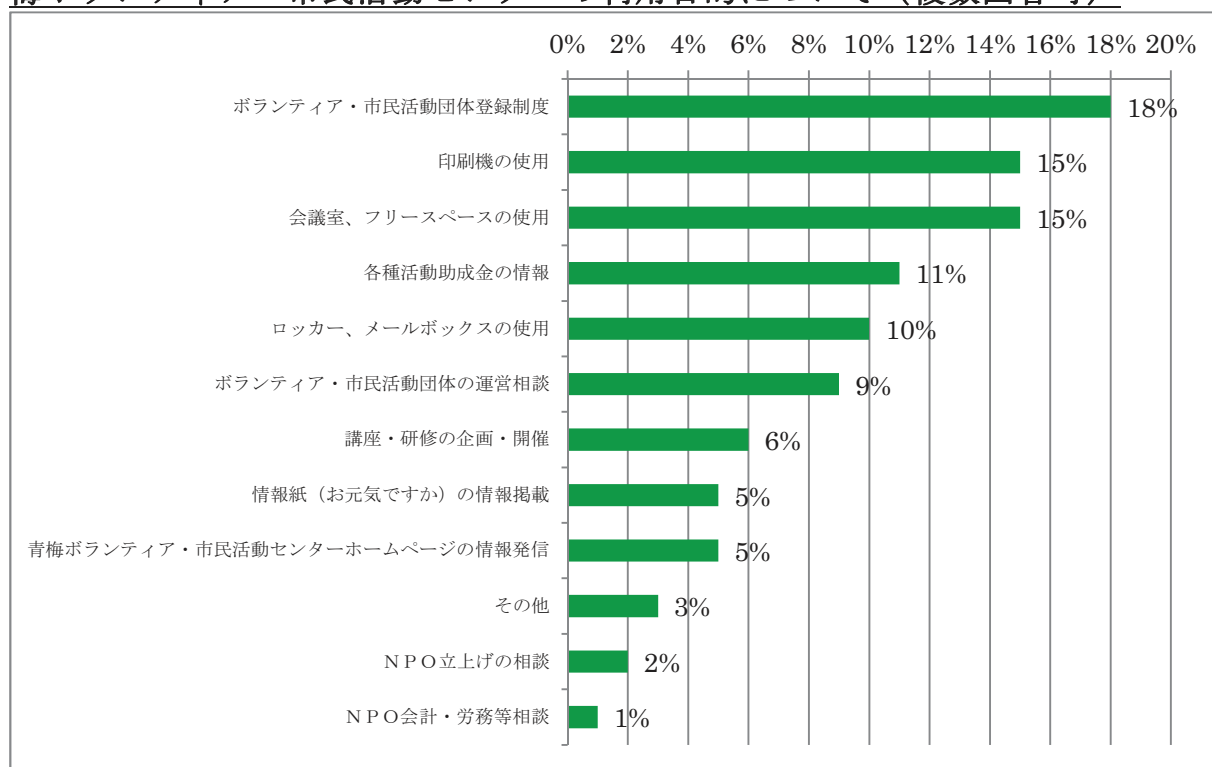
■（青梅ボランティア・市民活動センターを利用したことがある団体に対して）青梅ボランティア・市民活動センターの利用頻度はどのくらいか。



(n=52)

「1年間に数回」が42%で最も多く、次いで「1ヶ月に複数回」、「ほぼ毎週」の順に多い。

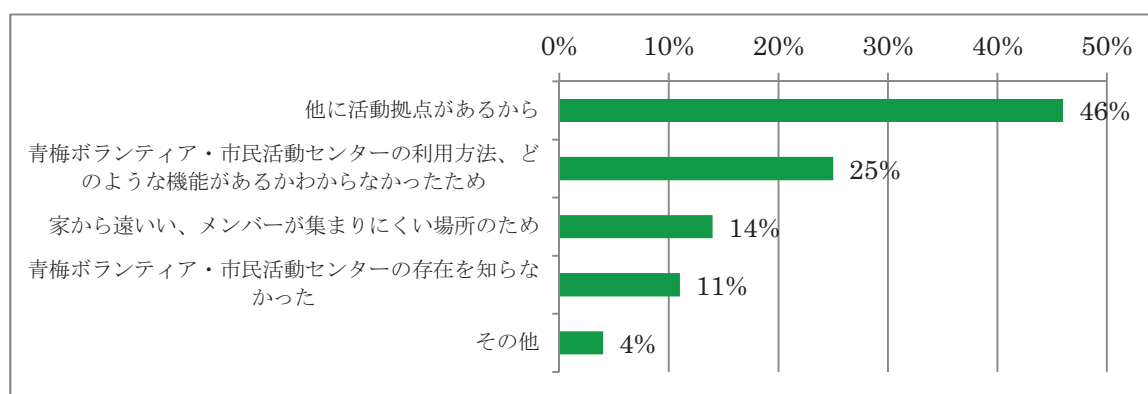
■（青梅ボランティア・市民活動センターを利用したことがある団体に対して）青梅ボランティア・市民活動センターの利用目的について（複数回答可）



(n=184)

「ボランティア・市民活動団体登録制度」が18%で最も多く、次いで「印刷機の使用」、「会議室、フリースペースの使用」の順に多い。

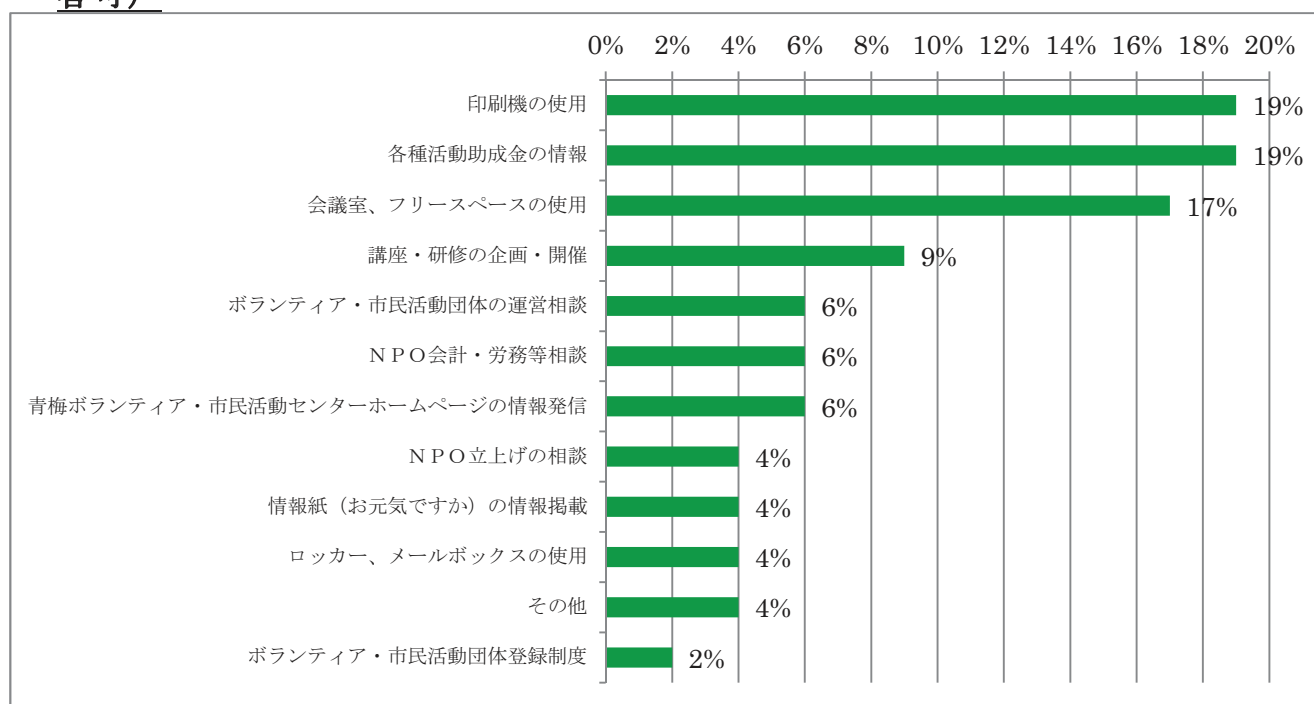
■（青梅ボランティア・市民活動センターを利用したことがない団体に対して）青梅ボランティア・市民活動センターを利用しない理由について（複数回答可）



(n=28)

「他に活動拠点があるから」が46%で最も多い。

■（青梅ボランティア・市民活動センターを利用したことがない団体に対して）今後、青梅ボランティア・市民活動センターを利用してみたい機能について（複数回答可）

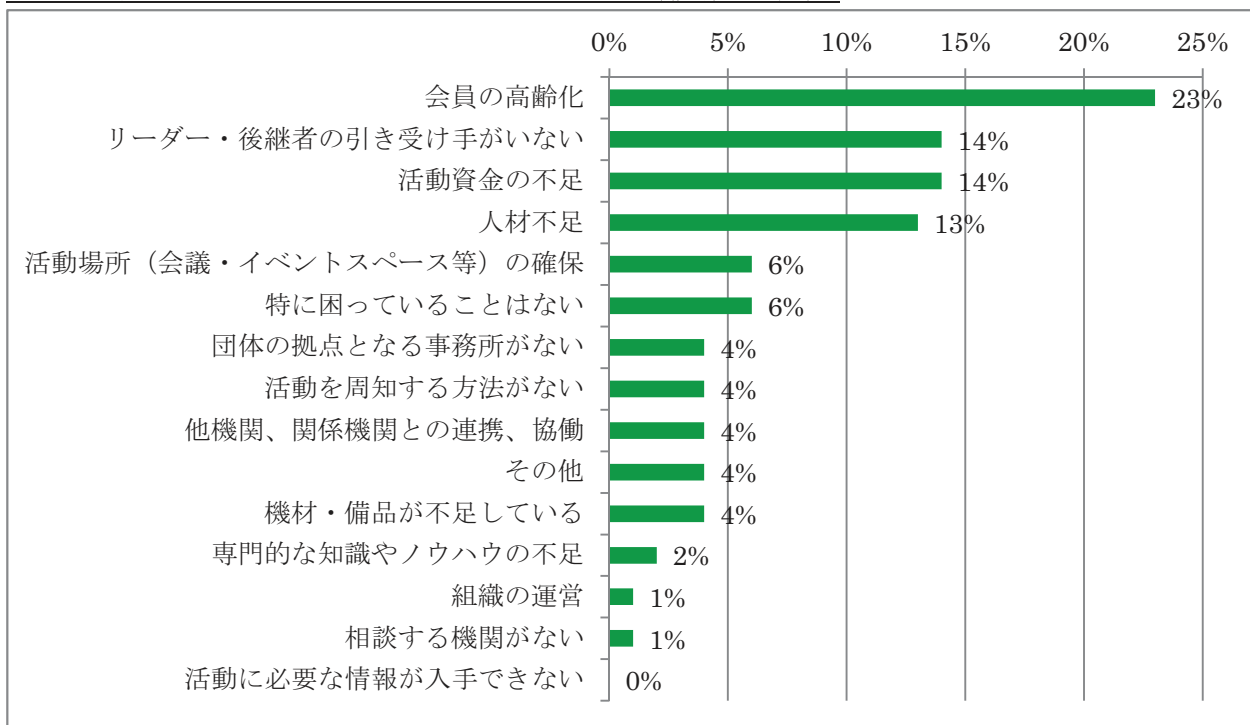


(n=49)

「印刷機の使用」、「各種活動助成金の情報」が19%で最も多く、次いで「会議室、フリースペースの使用」が17%であった。

7.活動上の課題と今後の方向性について

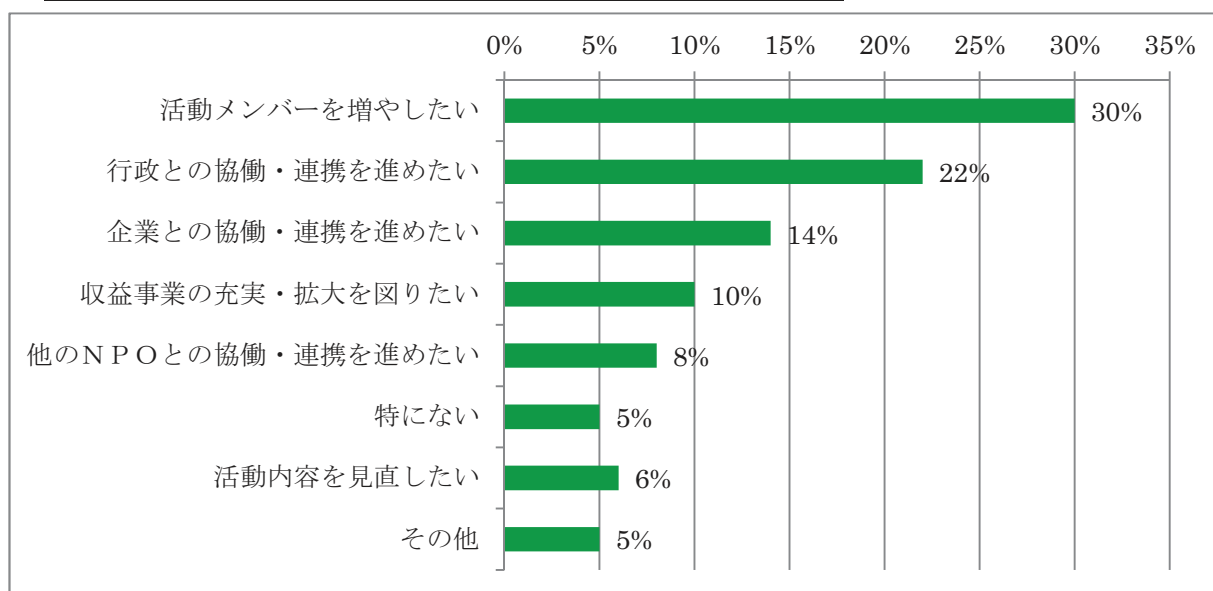
■活動する上で困っていることについて（複数回答）



(n=164)

「会員の高齢化」が23%で最も多く、次いで「リーダー・高齢者の引き受け手がない」、「活動資金の不足」が14%であった。

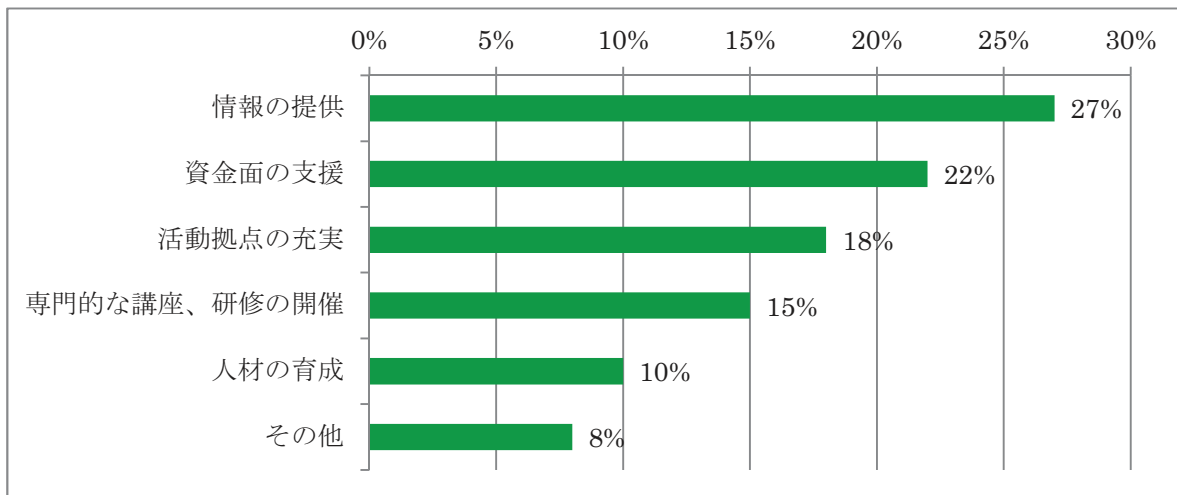
■今後、目指していく方向について（複数回答可）



(n=159)

「活動メンバーを増やしたい」が30%で最も多く、次いで「行政との協働・連携を進めたい」が22%、企業との協働・連携を進めたいが14%であった。

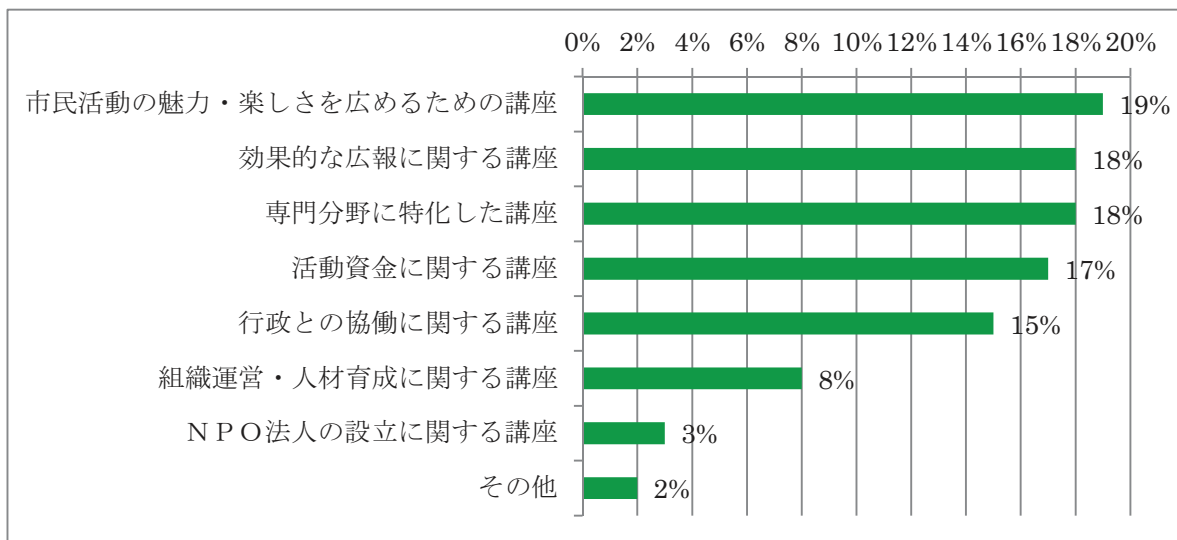
■課題解決に向けて青梅市および青梅ボランティア市民活動センターに望むものについて（複数回答可）



(n=115)

「情報の提供」が27%で最も多く、次いで「資金面の支援」22%、「活動拠点の充実」18%であった。

■団体の強化に関する支援として、開催してほしい講座について（複数回答可）



(n=120)

「市民活動の魅力・楽しさを広めるための講座」が19%で最も多く、次いで「効果的な広報に関する講座」「専門分野に特化した講座」が18%、「活動資金に関する講座」が17%であった。